



告示直前に、伊藤大気東京都議候補（左）と街頭で支持を呼びかける長内史子衆院東海比例候補＝6月24日、東京都墨田区（写真提供・稻生俊郎日本共産党愛知県委員会選挙対策部長）

日本共産党は、コロナ封じ込めのために①ワクチンの迅速接種と大規模検査②十分な補償と生活支援③医療を削る政治の転換ーが不可欠と訴え。都立・公社病院の独立行政法人化をやめ、医療、介護、障がい者福祉、保育などケアに手厚い東京をつくると全力です。

全国からの支援が広がっています。愛知のオルグ（組織者）は、墨田区、杉並区、北多摩3区に入り、同地域から依頼の名簿へ愛知から電話で支持拡大が行われています。

定数3の墨田区は6人（自民2公明1都ファ1共産1国民1）が立候補。共産党の伊藤大気候補は前回2千票差で惜敗、今回は立憲民主党の支援も得て議席獲得をめざします。自公は定数3の与党独占めざし「伊藤は大丈夫」と攻撃。連合東京が野党共闘つぶしで国民民主の元職を立てました。墨田の勝利は野党共闘を発展させます。

定数6の杉並区は12

支援者に手を振る（左から）田村智子副委員長と田中とも子候補＝6月25日、東京都調布市



長内史子衆院東海比例候補が支援活動レポート

共産党躍進は日本社会を変える

6月25日、東京都議選がはじまりました。私は、24日に墨田区(定数3)へ応援に入り、日本共産党的伊藤大気候補と宣伝カーでともにマイクを握り、区内7カ所で街頭から訴えました。

私は、2013年の都議選の時に東京で活動していました。当時は、「1兆1億円の外環道より、認可保育所をつくる」という政策を掲げていました。「認可保育園は必要だ」と共感が一気にひろがりました。「外環道が必要」という方にも「まずは、認可保育園のために」と訴え支持約束をしてもらいました。

東京都議選 4日投開票

ビラ配布、電話かけ、友人・知人に支持依頼・
愛知から支援続々